

保育士不足対策について

1. 新規保育士の確保対策

- ① 保育実習の在り方見直しによる学生の確保
(目的)小郡市独自の魅力的な保育実習を構築し学生に保育の魅力を伝える。
(実績)①保育実習の記録を必要最低限に縮小②パソコン入力可能な実習記録様式にする③園で記録作成する④実習生の相談、助言を主任が担う
- ② 保育士養成校ガイダンス及び三井高校訪問によるインターンシップの推進
(目的)インターンシップをPRし、将来の保育士養成につなげる
(実績)R6:県内5か所の大学・短期大学・専門学校を訪問・三井高等学校訪問
- ③ 小郡市保育士就職支援金
(目的)市内保育所に保育士の就労を支援する
(実績)・常勤保育士で市内保育所に就労10万円・市外から移住10万円
※H29以降申請者数 123人 ※他に 国による処遇改善Ⅰ、Ⅱ、Ⅲの実施

2. 保育士の離職防止対策

- ① ICT 導入
(目的)保育士の事務負担軽減のため、出席確認や保育日誌及び保育計画作成、保護者連絡等をICT化する
※令和5年度:事業実施園 市内の保育所・小規模保育所・認定こども園
- ② 保育補助者雇上げ補助金
(目的)保育士の負担軽減を図り、保育士の離職防止を図る
R6 から実施
・定員121人未満の施設:年額 2,338 千円
・定員121人以上の施設:年額 4,676 千円 【補助割合】国:3/4 県 1/8 市 1/8
- ③ 障がい児補助金
(目的)障がい児の受入れ促進
・加配保育士を配置した園に人件費の一部補助額:1名あたり147,000円/月
(実績)R2:35,868千円、R3:37,485千円、R4:48,659千円、R5:49,215千円
- ④ 市内園の横断的な交流促進による魅力ある保育所づくり
(目的)保育所内の風通しをよくすることで働きやすい職場環境を促進する。
(実績)市内幼稚園保育所等園長研修会の実施(障がい児保育、不適切保育、安全管理 その他)
小郡市保育協会園長会の部会活動の促進
小郡市保育協会主任保育士会による新任研修会の実施